



泗水小だより



泗水小学校
学校だより No8
文責 芹川博文
6月9日(金)

学校教育目標 「自ら考え なかまと高め合う 泗水小」

改めて気づいたことがあります。それは登校の時、中学生の兄妹と一緒に来ている人が多いことです。小学校の正門で、「バイバイ」と手を振って別れる場面も見かけます。何とも温かい気持ちになる光景です。

雨の日が続きます。水路をはじめ危険な場所や行動について注意喚起をお願いいたします。



その場所、安全ですか？

信号待ちの時も、自分の身を守る

信号待ちの立ち位置にヒヤッとすることがあります。登校指導の時は、できるだけ車道から距離をとって立つよう指導しています。



自分の安全を守ることは、同時に相手（車の運転手）に対する思いやりにもつながります。

運動会前日の土曜日の朝、ある親子が歩いて登校されていました。「まだ歩かせるのは怖いので、いつもは車で送っています。こんな時に一緒に歩いて、少しでも自分で歩いていけるようにしていかないと。」と言われました。

安全意識も相手意識も、日々の生活の中で一つ一つ学んでほしいと願います。

体力をつけていきましょう

スポーツテストから感じたこと

運動は決して得意ではありませんでしたが、よく外で遊んだ記憶はあります。

毎日学校から帰ると学年関係なく広場に集まって暗くなるまで遊んでいました。



その中で体力はもちろん、もめごとの解決の仕方なども身に着けていったのでしょ。

さて、時代は変わり、外で遊ぶ子どもの姿を見ることがめっきり少なくなりました。「ほとんど見ませんね。店の前では見ますが。」とは、先日来校していただいた民生委員さん方の言葉。コロナや熱中症、不審者、理由を上げればきりがありませんが、大人になって困るのは子どもたちです。学校でも取り組んで参ります。ご家庭でも話題にしていただければ幸いです。

「泗水小愛」に満ちたレシートが子どもたちの本に！

なんともユニークで有難い取組だと思いました。皆様方がレシートを「泗水小」に入れていただいたおかげで、菊池市第三連絡協議会様より図書券2万円分をいただきました。

この取組は、菊池市内の第三セクター5施設（泗水養生市場、旭志ふれあいセンター、菊池観光物産館、七城メロンドーム、七城温泉ドーム）で購入された分のレシートを、設置してある各学校のレシート箱に入れていただくことで、学校ごとに分配して図書カードが贈呈されるとのこと。

早速、養生市場に行ってみると、ありました！出入口付近に、学校ごとの小さなポストがあり、中にレシートが入っていました。私もアスバラガスを買って、そのレシートを泗水小ポストに入れました。実際に入れてみて感じたことは、「保護者や地域の方が、買い物の時も泗水小のことを思って入れてくださっているんだ」ということです。



この「泗水小愛」に満ちた図書券を、校長室で図書委員長さんと副委員長さんに手渡しました。その際、「今、どんな本を読んでいますか？」と尋ね



たところ、委員長さんは「小説です。」、副委員長さんは「SDGsの本です。」との即答に、驚きと共に感心させられました。

これからも本好きの子ども達がたくさん増えていくことを願っています。応援してくださっている方、投函していただいている皆様、本当にありがとうございます。